

## 令和3年度「鹿児島学習定着度調査」の結果について

県教育委員会では毎年1月に県内全ての公立小学校5年生、中学校1・2年生を対象に「鹿児島学習定着度調査」を実施しています。その結果が公表されましたので、本市の児童生徒の学力の状況などについてお知らせします。

### ■結果の概要

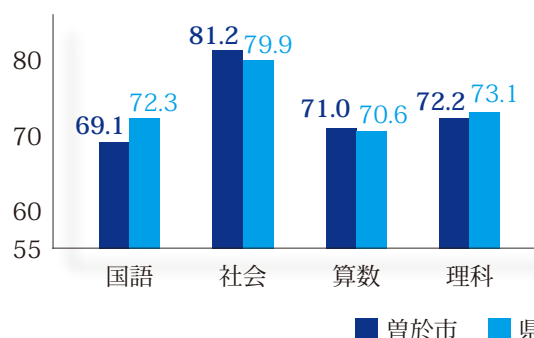
#### 《小学校》

社会と算数が県平均を上回っています。県との差が着実に縮まっています。今後は漢字や計算などの基礎的な内容をしっかりと身に付け、問題を正確に読み取る力をさらに高めていくことが必要です。

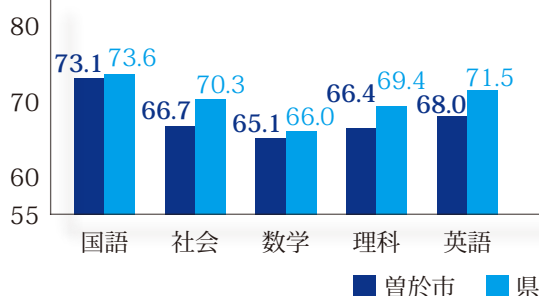
#### 《中学校》

教科によっては課題が見られます。基礎・基本の定着を図るための継続的な取組が必要です。また生徒が身に付けたことを生かす活動などをさらに授業に取り入れていく改善が必要です。

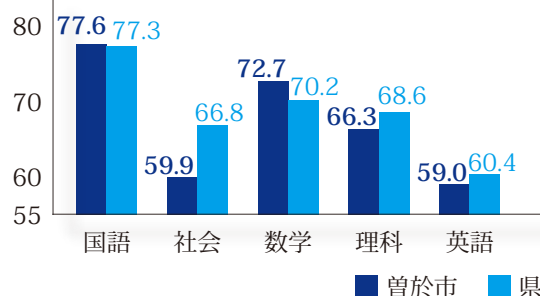
小学5年（現6年）の通過率（%）



中学1年（現2年）の通過率（%）



中学2年（現3年）の通過率（%）



### 学校や教育委員会の取り組み

学校では特に通過率の低かった問題を中心に補充指導を行い、年度内で定着を図る取り組みを行いました。また、全教職員で実態を把握・分析し改善に向けた取り組みを進めています。

教育委員会では学校訪問を通して学力向上に向けた指導・助言やタブレットの活用促進を図っています。

### 家庭学習の充実に向けて

ある調査の結果（本市児童〔小6〕回答）から「宿題」にはよく取り組むが「自主学習」にあまり取り組まないと答えた児童の割合が県よりもやや高いことが分かりました。高学年からは「与えられた宿題」だけでなく、自分から課題を見付けたり、興味があることを調べたりして家庭学習をより充実させていきましょう。

### 自律する力と共感する心を育むために

#### 授業における『タブレット端末』の効果的活用

自ら学びに向かう力を育てるために『タブレット端末』を活用し、一人一人の理解度に応じて出題されるドリル教材を使った個別学習や互いの考えを発表し合うアプリを活用した協働学習を推進します。『タブレット端末』を「教える道具」としてだけでなく「学びの道具」としても活用が図られるようにします。

#### 『学び合い』を取り入れた授業改善

共感する心を育て思考力・判断力・表現力を培うために、一斉指導だけでなくペアやグループ学習などの様々な形態を取り入れた児童生徒の対話のある「学び合い」を取り入れた授業を推進します。